

而して自由主義幼児教育は教育者に、この多忙と、この骨折りに堪え得る資格と眞の技倆とを要請して居るのである。

### 設備上の理想と簡易

吾人は、今すぐ出来る出来ないの伸尺を度外して、斯うしたらよい。斯うした方がいゝ。斯うして貰ひ度いと思ふことを随分澤山言つた。勿論、根から出来ない相談のことは言はない積りであるが、理想を逐へば欲望が其の上へくと昇る。併し斯く理想を説くは目あてを語るなのである。幼稚園の設備を理想的にし度いといふのは誰れも願ふ處である。しかし實際上に經費その他の都合からそれが容易に出来ないのである。斯うもし、あゝもしいふことは誰れも知つて居る。疾くから氣がついて居る。たゞ、外の事情から出来ないのである。

設備上の理想論は、斯ういふ幼稚園を批難するのではない。私の處ではといふ一つ一つの具體的實際に對しては、たゞ少しでも此の理想に近づいて貰ふ様にし度いと希望し、期待するばかりである。理想論を提げて、不足不平を言ひ散らすものではない。もしそんなことがあるならば、吾人の理想論は甚だ有害なものである。少くも不穩當なものである。

吾人は理想論を説くと共に、實際上にはどこ迄も簡易主義を主張するものである。殊に經費の少ない今日我國の幼稚園に於ては、そうしなければならぬ實際の要求なのである。

しかし、いくら簡單幼稚園として、教育上の犠牲を拂ふことは出来ない。幼稚園として、之れだけ必要な自ら信ずる程度迄は、自ら要求の起るのが當然である。簡易主義は消極主義ではない。出来るだけの範圍内の、張りつめた積極主義で

ある。

少い經費で、出来るかぎりの理想に近づかうとするには、金の力を他の力で補はなければならぬ。他の力として別にはない。人の力である。まめな働き、熱心な工夫、巧妙な節約法。これが簡易幼稚園の資力である。金も不足、此の三資本も不足ならば、幼稚園に何の進歩のあろう理がない。簡易な幼稚園といふよりは、甲斐ない幼稚

## 子供の盗み (二)

五  
子供の盗みには、或特別な動機があつて、それが爲めに直接若しくは間接に起る場合がある。これは前に述べた場合とは異り、必ずしも一般に起

園といはれなければならない。

今年も然り、來年も多分然り、吾人の理論上の研究は、いつでも理想主義になるであらう。しかも、吾人の實際には、此の理想に近い幼稚園設備を、如何にして簡易に作り得べきかといふにあらなければならない。斯ういふ前提前約のもとに、吾人は無頓着に理想論をするのである。

文學士 寺田精 一

るといふのではない、子供の個性に於て、或事が特別に發達して居る爲めや、其圍境界よりする特別なる條件の爲めに、盗みが行はるゝのであつて、以上の場合よりは多少其形式に於て複雑なるもの